

第17回 関東甲信越地区技術職員懇談会のご案内

国大協関東甲信越地区の大学・研究所の技術職員の技術交流を深めるために、2022年4月にこの懇談会を発足させました。技術の共有、技術協力、技術研修の共用などのつながりが深まることを目指しています。多くの技術職員のみなさまにご参加いただき、それぞれの仕事のご紹介や各機関の技術職員の話題をご紹介いただいております。開催は毎月第2週の金曜日です。 <https://www2.kek.jp/engineer/tsukuba/kondan/>

記

日時：2024年4月12日（金）16:00～

接続：

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZUkf-2rrTwrEt0uDZRsVHqZcPna47tTMQRa>
登録後、ミーティングの案内メールが届きます。

講演：

1. 千葉大学 西千葉地区事務部理工系総務課技術グループ 吉本 佐紀 氏
「極低温室の紹介と運営状況について」

当施設は理工系の研究で広く利用される低温寒剤（液体窒素・液体ヘリウム）の供給を担っている。特に貴重資源であるヘリウムに関してはリサイクル利用しており、回収機器・液化装置の運転・保守管理がメイン業務となっている。また、高圧ガスに関する保安管理や研究支援も担っている。研究基盤設備として全国の大学にも同様の施設が多数あるが、当施設の特徴を織り交ぜて施設紹介と最近の運営状況について報告する。

2. 信州大学 統合技術院（工学部）統括技術長 山上 朋彦 氏
「信州大学および技術職員組織紹介」

信州大学は典型的なたこ足大学であり部局間が大きく離れています。技術職員も部局毎にまとまって業務をしています。コアファシリティ構築支援プログラムに採択されたことにより技術職員組織も変わろうとしている今を紹介させていただきます。

以上

関東甲信越地区技術職員懇談会世話人一同